

令和5年三重県議会定例会 医療保健子ども福祉病院 常任委員会

所管事項説明資料

	頁
1 令和5年度の組織体制	1
2 県立病院の概要等	2
3 令和5年度の主要な取組	5
4 令和5年度三重県病院事業会計予算の概要	12

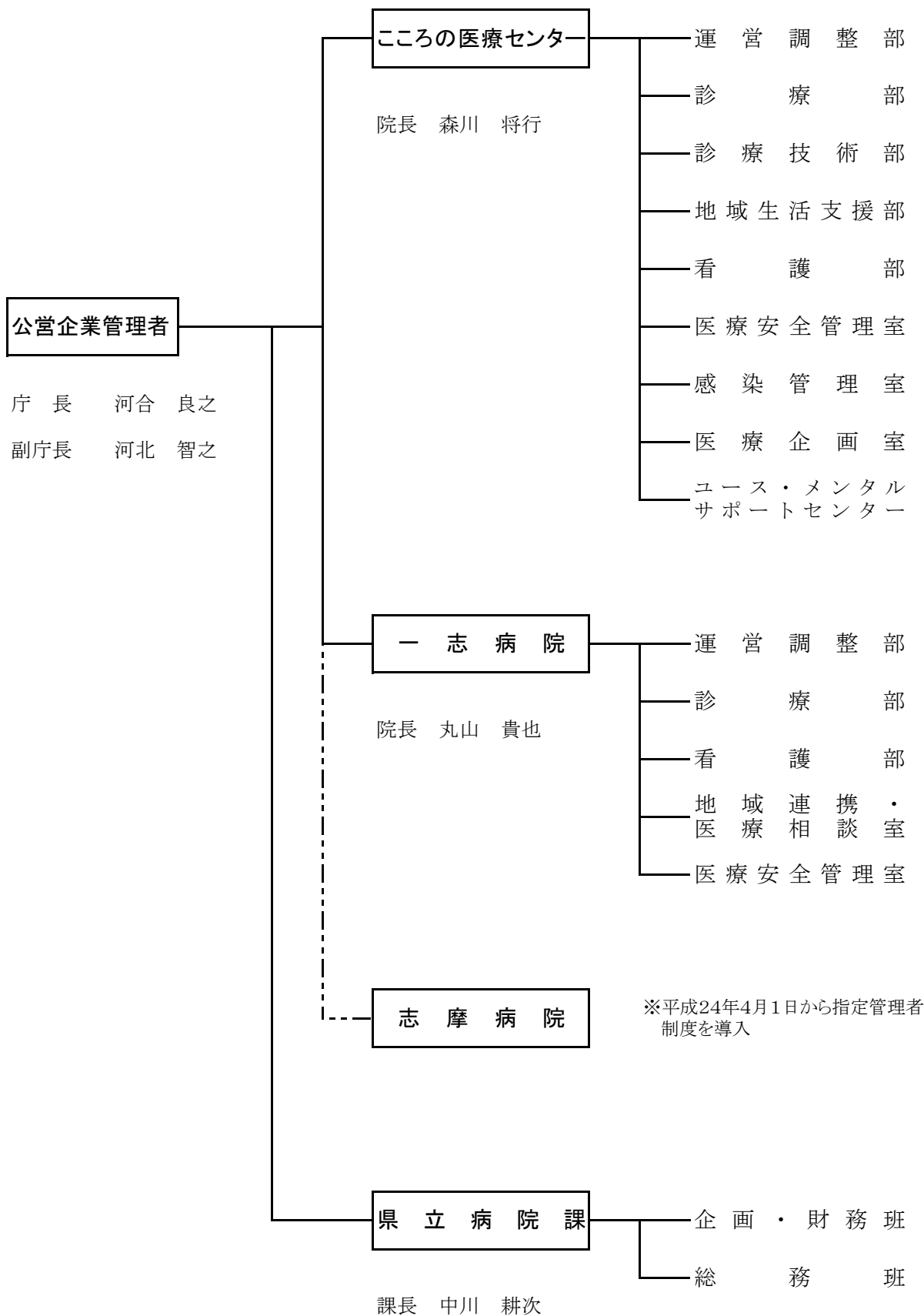
(別冊資料)

- ・三重県病院事業 令和5年度 年度計画

令和5年5月22日
病院事業庁

1 令和5年度の組織体制

(令和5年4月1日現在)



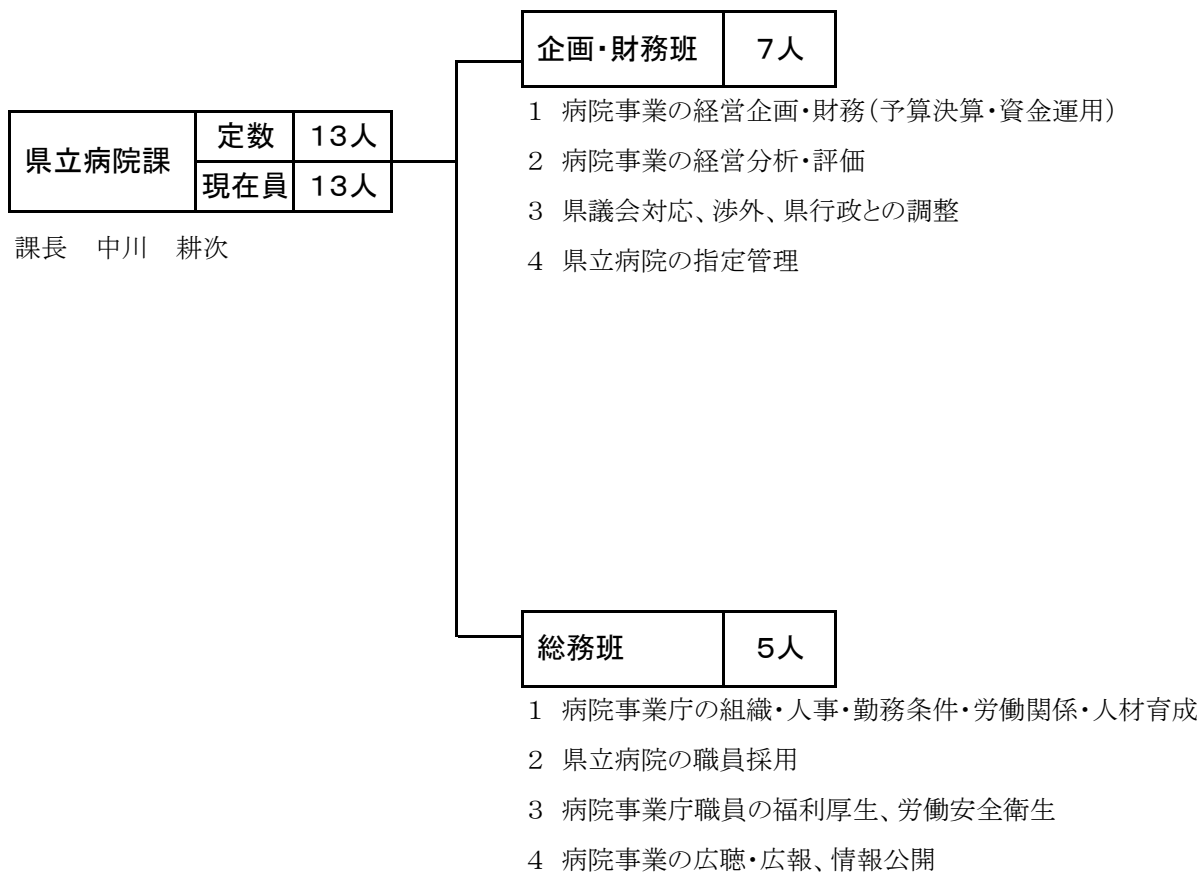
2 県立病院の概要等

(1) 県立病院の概要

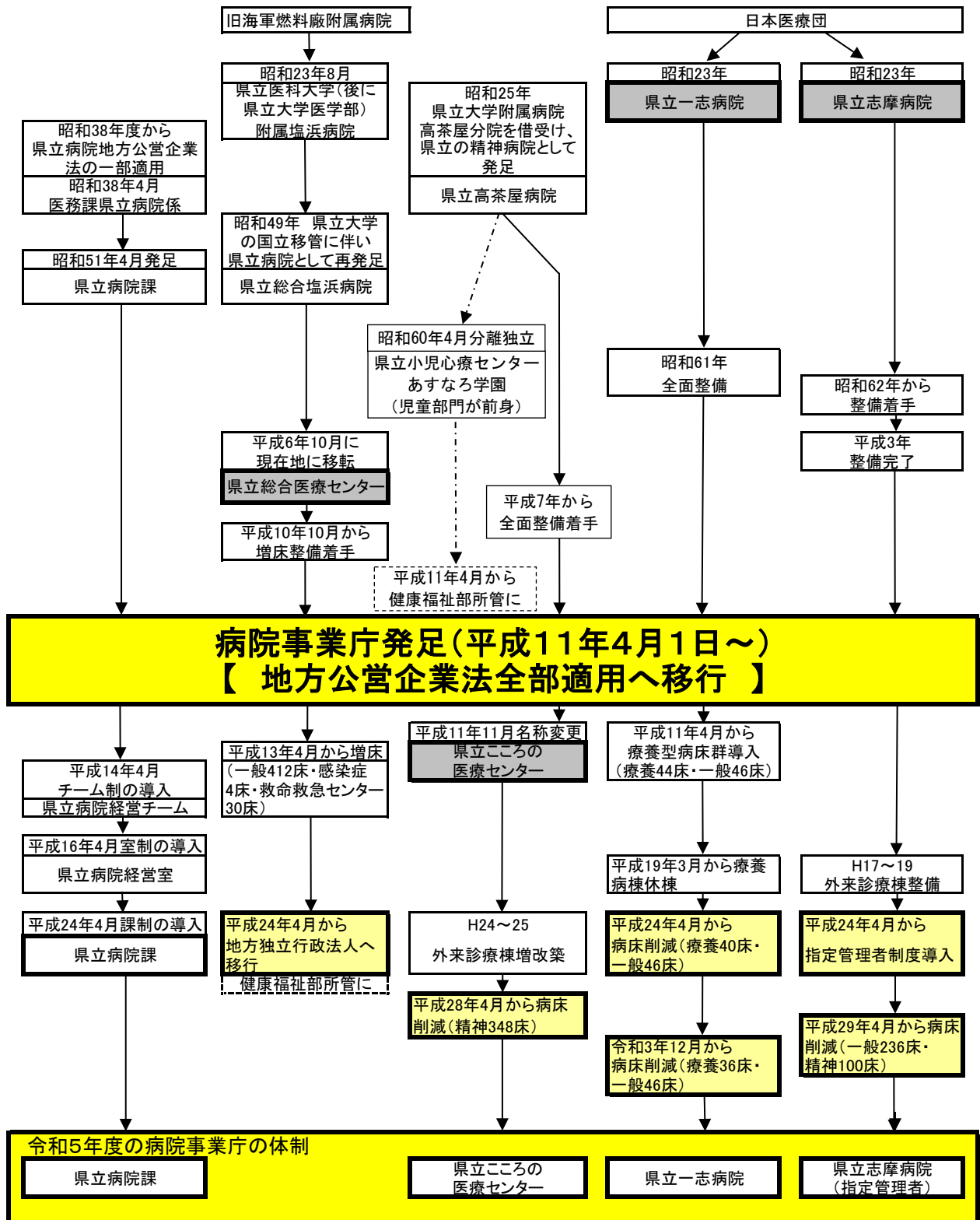
病 院 名		こころの医療センター	一志病院	志摩病院 (H24.4 から指定管理者 制度導入)
施設の所在地		津市城山	津市白山町南家城	志摩市阿児町鶴方
診 療 科 目 (R5. 4. 1)		精神科、内科、脳神経 内科、歯科	内科、外科、眼科 (休診中の診療科) 小児科、産婦人科、 整形外科、耳鼻咽喉科、 放射線科	内科、循環器内科、外 科、脳神経外科、小児 科、産婦人科、整形外 科、皮膚科、泌尿器科、 眼科、耳鼻咽喉科、 精神科、脳神経内科、 放射線科、漢方内科、 漢方皮膚科
許可病床数 (R5. 4. 1) ※ () の 数値は稼働 病床数	一般	—	46 床	236(184) 床
	療養	—	36(0) 床 ※休棟中	—
	精神	348 床 [R5. 8. 1～ 318 床]	—	100 床
	合計	348 床 [R5. 8. 1～ 318 床]	82(46) 床	336(284) 床
1 日平均 患 者 数 (R4 年度実績)	入院	187.1 人	33.0 人	166.2 人
	外来	187.1 人	65.7 人	258.4 人
職員数 (R5. 4. 1)		205 人	50 人	—
うち医師数		14 人	3 人 ※寄附講座 3 人を除く	—
うち看護師数		142 人 ※准看護師 1 人を含む	31 人	—
敷地面積		55,079 m ²	14,959 m ²	23,332 m ²
建物面積		20,708 m ²	6,295 m ²	26,609 m ²

(2) 県立病院課事務分掌

(令和5年4月1日現在)



(3) 県立病院の沿革



3 令和5年度の主要な取組

こころの医療センター

本県における精神科医療の中核病院として、政策的医療のほか、認知症治療や依存症治療などの専門的医療の提供、訪問看護やデイケアサービス等の地域生活支援に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症への対応については、引き続き、精神疾患を有する感染患者等を受け入れるなど、必要な役割を果たします。

(1) 精神科救急・急性期医療の提供

「三重県精神科救急医療システム」の支援病院として、休日・時間外等の救急患者の受入れに対応するとともに、保健所からの要請を受けて実施する措置診察について、診察結果に基づく措置入院などに対応するほか、診察の結果、入院に至らなかった方に対しても、保健所など関係機関と連携しながら患者やその家族の意向をふまえた適切な支援を行っています。

また、患者ニーズや新興感染症への対応をふまえ、個室化等の病棟機能の見直しや多職種連携の充実を進め、入院患者の受入体制の強化と早期退院の促進を図っています。

	R2	R3	R4
精神科救急患者受入件数（件／年）	154	178	117
措置鑑定対応件数（件／年）	80	77	78

(2) 専門的医療の提供

① 認知症治療

脳神経内科専門医とともに多職種が連携し、専門外来（もの忘れ外来）と専門病棟（認知症治療病棟）による切れ目のない効果的な治療を提供しています。

また、他の医療機関や介護サービス事業所等の関係機関との連携を充実させて紹介患者の受入れを強化するなど、患者増に取り組むとともに、認知症疾患医療センターとして、家族等からの相談にきめ細かく対応するほか、普及啓発にも積極的に取り組んでいます。

	R2	R3	R4
認知症入院患者数（人／日）	28.7	26.4	29.2
もの忘れ外来患者数（人／年）	1,050	1,234	1,182

② 依存症治療

アルコール依存症治療については、専門病棟を有する県内唯一の医療機関として効果的な入院治療やアルコールデイケアサービスを提供するとともに、家族等を対象とした研修会の開催や効果的なプログラム（CRAFT（※））、動機付け面接等により、本人や家族への支援に取り組んでいます。

ギャンブル依存症治療については、専門プログラムに基づく治療を提供しています。

また、これらの依存症の治療拠点機関として、医療機関等を対象とした研修会の開催や普及啓発に取り組むとともに、地域の自助グループとの顔の見える連携を図っています。

(※) CRAFT : Community Reinforcement And Family Training の略。患者を取り巻くコミュニティ（環境）の強化や家族のコミュニケーションスキルを向上させるトレーニング等を通じて、患者が自ら治療を受け入れやすくなるような環境づくりを支援するプログラム

	R2	R3	R4
アルコール依存症入院患者数（人／日）	25.9	19.4	15.8
アルコール依存症外来患者数（人／年）	3,220	3,040	2,773
飲酒運転 ^{ゼロ} 〇をめざす条例に基づく受診者数（人／年）	3	2	3

③ 精神科早期介入・早期予防

院内に設置した「ユース・メンタルサポートセンターMIE (YMSC-MIE)」において、若年層やその家族等からの相談に対応し、必要に応じて外来診療につなげるほか、相談者の意向をふまえた適切な支援を行っています。

また、若年層への支援にあたっては、保健所や学校など関係機関と連携しながら取り組んでいます。

	R2	R3	R4
精神科早期介入対応件数（件／年）	173	235	192

(3) 地域生活を支えるための支援

患者の地域における生活を支援するため、外来患者に対する多様で効果的なプログラムを用いたデイケア・ショートケアサービスの提供や、入院患者に対する地域生活に向けたリハビリテーションとしての作業療法の実施、在宅療養支援のための訪問看護サービスの提供、保健所や市町、障害福祉サービス事業所等の関係機関と連携した退院支援を行っています。

	R2	R3	R4
デイケア・ショートケア延べ患者数(人／年) [実人数]	8,474 [212]	9,897 [203]	10,125 [215]
作業療法の実施件数（件／年）	20,164	17,774	19,562
訪問看護延べ患者数（人／年）	4,161	4,231	4,317
障害福祉サービス事業所等との連携取組件数（件／年）	7	8	9

一 志 病 院

総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践や研究、プライマリ・ケアを担う人材の育成等に取り組むとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた医療・介護・予防等の多職種連携に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症への対応については、関係機関と連携しながら感染患者の受入れ、発熱外来や検査の実施、ワクチン接種、医療人材の派遣など、必要な役割を果たします。

(1) 地域医療の推進

① 在宅療養支援

高齢化が進展し、在宅療養支援のニーズが高まる中、通院が困難な患者に対して、訪問診療や訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅療養支援を行うなど、きめ細かな医療サービスを提供しています。

また、入院患者が退院後、スムーズに在宅生活を開始できるよう、介護事業者等と在院中から連携を図ることなどにより、医療と介護の切れ目のない在宅療養支援を行っています。

	R2	R3	R4
訪問診療延べ患者数（人／年）	1,099	1,091	997
訪問看護延べ患者数（人／年）	3,339	3,161	2,917
訪問リハビリ延べ患者数（人／年）	436	697	845
訪問薬剤指導延べ患者数（人／年）	30	23	19
訪問栄養指導延べ患者数（人／年）	34	35	42

② 予防医療

地域住民の健康寿命の延伸を図るため、健康教室や糖尿病教室、出前講座等に取り組むとともに、住民健診、人間ドック、がん検診等の予防医療を提供しています。

	R2	R3	R4
住民健診受検者数（人／年）	635	491	472
人間ドック受検者数（人／年）	103	107	103
がん検診受検者数（人／年）	623	470	409

③ 救急医療

消防機関や診療所等と密接に連携しながら、総合診療医を中心とした 24 時間 365 日の救急患者受入体制を維持し、地域の救急医療体制の確保に貢献しています。

	R2	R3	R4
救急患者受入件数（件／年）	877	740	655

④ 関係機関等との連携

「美杉・白山・一志保健医療福祉連携会議」等の情報共有会議の開催や健康啓発事業への講師派遣、リーフレットへの寄稿、院内に設置した「もの忘れ相談室」における患者やその家族への支援などの取組を通じて多職種連携の体制を強化し、津市における地域包括ケアシステムの構築を支援しています。

また、令和4年10月に開所した病児・病後児保育室「みどり」を適切に運用するとともに、津市と連携して地域住民等への周知・利用促進を図っています。

	R2	R3	R4
多職種連携による取組件数（件／年）	13	10	13

(2) 人材育成の充実

三重大学を中心に取り組んでいる総合診療医の育成に対応する拠点病院として、研修医や医学生を積極的に受け入れ、同大学と密接に連携しながら実践的な研修を実施するなど、県内において総合診療医を育成するための中心的な役割を担っています。

また、県内のプライマリ・ケア人材を育成するため、看護や介護の実習生を積極的に受け入れ、実践的な研修を提供するとともに、県が院内に設置している「三重県プライマリ・ケアセンター」において、医療・介護従事者に対する研修会の実施やプライマリ・ケアエキスパートナースの認証を行っています。

	R2	R3	R4
研修医・医学生受入延べ人数（人／年）	318	415	408
看護実習生等受入延べ人数（人／年）	48	303	380
プライマリ・ケア研修会開催件数（件／年）	3	3	3
プライマリ・ケアエキスパートナース認証者数（人／年）[うち一志病院看護師]	5 [1]	6 [2]	5 [3]

志摩病院

平成 24 年 4 月に指定管理者制度を導入した志摩病院では、指定管理者（公益社団法人地域医療振興協会）において、診療機能の段階的な充実を図りつつ、引き続き、志摩地域の中核病院としての役割・機能を担っていただけるよう病院運営を行っています。

新型コロナウイルス感染症への対応については、引き続き、関係機関と連携しながら、感染患者の受入れ、検査の実施やワクチン接種など、必要な役割を果たします。

(1) 常勤医師の配置状況

診療科等	県直営		(10年間)		
	H24. 3	H24. 4	第1期指定管理	第2期指定管理	
			R3. 4	R4. 4	R5. 4
内科および救急・総合診療科	5	7	11	10	10
外科	3	4	4	5	5
整形外科	3	2	2	2	3
脳神経外科	1	1	0	0	0
眼科	1	1	1	1	1
産婦人科	0	0	0	0	1
小児科	0	0	1	1	0
皮膚科	0	0	1	1	0
漢方内科・漢方皮膚科	-	-	-	-	1
泌尿器科	1	1	1	1	1
精神科	3	3	2	2	2
放射線科	1	1	1	1	1
緩和ケア	2	2	0	0	0
小計	20	22	24	24	25
初期研修医	1	2	6	6	7
合計	21	24	30	30	32

(単位：人)

(2) 入院・外来診療

入院診療については、一般病床の稼働病床数を平成 24 年 4 月の 117 床から順次増床し、平成 28 年 10 月からは 184 床（全病棟が稼働）としています。また、平成 28 年から回復期機能を担う地域包括ケア病棟（72 床）を運用するなど、地域の多様な医療ニーズに対応しています。

外来診療では、小児科についてはこれまで週 5 日の診療としていましたが、令和 5 年 3 月末の常勤医師退職に伴い、非常勤医師による週 3 日の診療としています。一方、婦人科についてはこれまで週 3 日の診療としていましたが、令和 4 年 7 月の常勤医師採用に伴い週 5 日の診療としています。

		H30	R1	R2	R3	R4	
1 日平均患者数 (人/日)	入院	一般	120.0	120.8	100.2	101.6	97.8
		精神	78.5	73.4	72.5	66.3	68.4
	外来	一般	275.4	257.3	217.1	216.0	218.3
		精神	38.4	39.1	37.3	38.8	40.2

(3) 救急医療

内科系救急は、指定管理者制度の導入以降、段階的に受入時間帯を拡充し、平成28年5月からは24時間365日の受入れを実施しています。

外科系救急については、令和5年4月から金曜夜間（22時30分～翌8時30分）の受入れを停止し、火・水曜の準夜間（17時～22時30分）を受け入れることにより、平日週5日の準夜間の受入れを行っています。

	H30	R1	R2	R3	R4
志摩市消防本部からの救急搬送者数(人)	2,398	2,024	1,588	1,686	1,882

(4) 地域医療の確保・質の向上

「地域医療支援病院」として、患者に身近な地域で医療を提供していけるよう、開業医と緊密に連携しながら、地域医療の確保・質の向上に取り組んでいます。

また、「へき地医療拠点病院」として、志摩市間崎島への巡回診療（月2回）を実施しています。

(5) 適正な管理・運営のための取組

病院事業庁と指定管理者で構成する「志摩病院管理運営協議会」（年2回）の開催や、毎月の業務報告書の聴取等を通じて運営状況を常に把握し、適切な連携及び指導・監督を行うとともに、地域の方々を対象にした「志摩病院運営状況報告会」（年1回）を開催し、その意見を病院運営に生かしています。

中期経営計画

(1) 「三重県病院事業 中期経営計画」の延長と年度計画の策定

病院事業庁では、県立病院に求められる役割・機能等をふまえ、病院事業の経営を中期的な観点から計画的に推進し、それぞれの県立病院が医療サービスを安定的かつ継続的に提供していくため、「三重県病院事業 中期経営計画」を策定しています。

令和4年3月に、国において「公立病院経営強化ガイドライン」が策定され、令和4～5年度の間「公立病院経営強化プラン」を策定することが求められましたが、地域医療構想に係る議論が進行中の状況であったことなどから、令和3年度及び令和4年度と同様、令和5年度についても、現行計画（平成29年度～令和2年度）をさらに延長したうえで単年度計画を策定し事業運営を行っています。

(2) 次期中期経営計画の策定

「公立病院経営強化プラン」として位置づける次期中期経営計画（令和6年度～9年度）については、地域医療構想の議論や第8次医療計画との整合を図りつつ、令和5年度中に策定します。

(今後の予定)

令和5年10月・・・常任委員会にて「素案」を説明

12月・・・常任委員会にて「中間案」を説明

令和6年3月・・・常任委員会にて「最終案」を説明

参考：「公立病院経営強化プラン」の記載事項

ア 役割・機能の最適化と連携の強化

- ・地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
- ・機能分化・連携強化
- ・医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標
- ・一般会計負担の考え方
- ・住民の理解のための取組

イ 医師・看護師の確保と働き方改革

- ・医師・看護師等の確保
- ・臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保
- ・医師の働き方改革への対応

ウ 経営形態の見直し

エ 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

オ 施設・設備の最適化

- ・施設・設備の適正管理と整備費の抑制
- ・デジタル化への対応

カ 経営の効率化等

- ・経営指標に係る数値目標
- ・経常収支比率及び修正医業収支比率に係る数値目標

4 令和5年度三重県病院事業会計予算の概要

1. 収益的収支

(単位:千円)

	こころの医療センター	一志病院	志摩病院	県立病院課	合計
①病院事業収益(A+B+C)	3,355,562	1,096,925	925,749	95,981	5,474,217
医業収益(A)	2,117,109	667,828	9,960	—	2,794,897
うち入院収益	1,761,168	374,461	—	—	2,135,629
うち外来収益	330,528	165,914	—	—	496,442
医業外収益(B)	1,238,453	429,097	915,789	95,981	2,679,320
うち一般会計繰入金	1,114,835	384,913	628,043	94,941	2,222,732
特別利益(C)	—	—	—	—	—
②病院事業費用(D+E+F)	3,375,145	1,018,322	989,967	95,981	5,479,415
医業費用(D)	3,325,999	1,008,760	928,305	79,827	5,342,891
うち給与費 ※	2,045,671	582,098	—	154,799	2,782,568
うち材料費	220,557	64,192	—	—	284,749
うち経費 ※	761,884	238,957	623,077	26,981	1,650,899
うち減価償却費	208,318	90,429	300,731	1,832	601,310
医業外費用(E)	49,146	9,562	61,662	16,154	136,524
特別損失(F)	—	—	—	—	—
経常損益(A+B) - (D+E)	△19,583	78,603	△64,218	—	△5,198
純損益(①-②)	△19,583	78,603	△64,218	—	△5,198
(参考)R4年度当初予算 経常損益	52,124	60,376	△57,381	—	55,119

※ 県立病院課の給与費、経費については、各病院の費用として割振りを行う前の所要額として記載しています。

2. 資本的収支

(単位:千円)

	こころの医療センター	一志病院	志摩病院	県立病院課	合計
③資本的収入(a+b+c)	399,602	119,325	727,697	463	1,247,087
企業債(a)	151,000	97,400	194,600	—	443,000
県費負担金(b)	248,602	21,925	133,097	463	404,087
短期貸付金返還金(c)	—	—	400,000	—	400,000
④資本的支出(d+e+f+g+h)	553,176	143,026	860,788	93,925	1,650,915
建設改良費(d)	152,670	99,549	198,144	—	450,363
企業債償還金(e)	400,506	43,477	262,644	925	707,552
長期借入金償還金(f)	—	—	—	90,000	90,000
長期貸付金(g)	—	—	—	3,000	3,000
短期貸付金(h)	—	—	400,000	—	400,000
資本的収支差引(③-④)	△153,574	△23,701	△133,091	△93,462	△403,828

【参考】

(単位:千円、%)

	R4年度 当初予算額	R5年度 当初予算額	増減 (R5-R4)	前年度比 (R5/R4)
病院事業費用	5,317,333	5,479,415	162,082	103.0
資本的支出	2,143,900	1,650,915	△492,985	77.0
計	7,461,233	7,130,330	△330,903	95.6



県立こころの医療センター(津市城山)

本県における精神科医療の中核病院として、政策的医療のほか、認知症治療や依存症治療等の専門的医療の提供、訪問看護やデイケア等の地域生活支援に取り組みます。



県立一志病院(津市白山町)

総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践や、プライマリ・ケア人材の育成のほか、予防医療や地域包括ケアシステムの構築に向けた多職種連携に取り組みます。



県立志摩病院(志摩市阿児町)

志摩地域の中核病院として、指定管理者と密接に連携しながら、地域の医療ニーズをふまえた診療機能の充実に取り組みます。

病院施設・設備及び医療機器等整備事業

予算額 450, 363千円

患者ニーズへの対応や医療の質の向上、安全・安心な療養環境の整備・向上を図るため、各病院において施設・設備の改修や医療機器の更新などを実施します。

○ こころの医療センター

(施設・設備) 病棟内部改修(個室化等) 工事	88, 170千円
(医療機器等) 全自動生化学分析装置	他 64, 500千円

○ 一志病院

(施設・設備) 照明改修工事	他 66, 532千円
(医療機器等) 健康診断システム	他 33, 017千円

○ 志摩病院

(施設・設備) 火災報知設備等改修工事	他 101, 129千円
(医療機器等) 透視装置一式	他 97, 015千円

志摩病院管理運営事業

予算額 1, 022, 492千円

志摩病院の指定管理者に対して、政策的医療を実施するために必要な経費(指定管理料)を交付するとともに、安定的、継続的な病院運営を実施するための資金の貸付を行います。

政策的医療交付金(指定管理料)	606, 879千円
短期貸付金(運転資金の貸付)	400, 000千円
臨床研修費等補助金(国庫補助)	5, 653千円
事務委託料(手数料等の徴収)	9, 960千円